

# 心のバリアフリー教育の推進

< 今年度の取組等紹介 Vol.5 >

## 「あすチャレ！」実践について

日本財団パラスポーツサポートセンターと連携して、児童生徒がパラスポーツを体験すること等を通して、共生社会を考える深い学びの機会を提供する「あすチャレ！」プログラムの実施校での様子について紹介します。

### あすチャレ！スクール（パラスポーツ体験型出前授業）

実施校	市川市立大洲中学校：2年生約150名
講師紹介	<p><b>【車いす陸上プログラム】</b> <small>ながお よしふみ</small> 永尾 嘉章 講師</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パラリンピック日本人最多となる7大会出場</li> <li>・アテネパラリンピック日本選手団主将</li> <li>・4×400m（T53/54クラス）銅メダル獲得</li> <li>・100m（T54クラス）日本記録保持者</li> </ul>



銅メダルを見せてくれた永尾講師

パラアスリートのハイパフォーマンスを生で見たり、パラスポーツを体験したりすることで、「すごさ」「かっこよさ」「楽しさ」「難しさ」を感じることが出来ました。

また、講師がパラスポーツを通じて得た経験・教訓を交えながら、「他者のことを自分ごととして考える心」「障害とは何か」「可能性に挑戦する勇気」「『夢』や『目標』を持つ力」について、生徒と一緒に考えました。



デモンストレーション



競技用車いす体験  
(重量体感)



競技用車いす体験  
(速度計測)



競技用車いす体験  
(クラス別リレー)

#### 生徒の感想

- ・永尾講師のデモンストレーションを生で見てもかっこよかった。
- ・競技用の車いすが軽くて驚いた。また、真っ直ぐ進むことやUターンが難しかった。
- ・パラスポーツをやっている人が努力を重ねていることが分かってよかった。
- ・障害者でなくても困っている人がいたら声を掛けて、助けてあげられるようにしたい。
- ・永尾講師の話を聞いて、将来の幅が広がったような気がして、とてもワクワクした。

お問い合わせ先 企画管理部教育政策課 電話043-223-4177